

# 創立 70 周年を迎えるにあたって

一般社団法人日本繊維機械学会は、繊維産業に携わる方々の結集体として昭和 23 年に設立されて以降、

- 繊維関連技術発展と人材育成のための研究発表会、講演会、講習会等の企画実施
- 学会誌および論文集等の発刊をはじめとする繊維・繊維機械技術に関する学術の普及
- 国際会議開催等による国際社会への技術発信と交流活動

を活発に展開し、繊維及び繊維機械に関する学術の進歩、かつこれらに関連する工業技術の発展に努め、平成 29 年に創立 70 周年を迎えることとなりました。これはひとえに会員の皆様の絶大なるご支援とご協力の賜物であり、ここに深く感謝の意を表します。

学会創立以降、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きな発展を遂げた一方、繊維産業を取り巻く環境も変貌を遂げるなか、時代に即した技術者、研究者の育成支援も必要です。

70 周年という節目にあたり、このような繊維産業を取り巻く現状を鑑み、本学会では、繊維及び繊維機械に関する更なる学術の進歩、工業技術への更なる貢献を推進すべく、「**繊維産業の未来を語ろう**」をメインテーマとして、下記の記念事業を計画しております。

<p><b>(1) 創立 70 周年記念式典</b>  <b>【期日】</b> 平成 29 年 9 月 13 日 (水)  <b>【会場】</b> 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1)  <b>【内容】</b> 産・官・学からのご祝辞や基調講演ならびに繊維産業に携わる方々の交流を促進。</p>
<p><b>(2) 日本繊維機械学会ミュージアム</b>  <b>【期日】</b> 平成 29 年 9 月 13 日 (水)、14 日 (木)  <b>【会場】</b> 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1)  <b>【内容】</b> 繊維産業に関わる人材の育成を目的とし、繊維関連企業にご協力いただき、繊維産業の社会への貢献をテーマとした技術展示。</p>
<p><b>(3) 国際シンポジウム「第 45 回繊維工学研究討論会」</b> The 45<sup>th</sup> Textile Research Symposium  <b>【期日】</b> 平成 29 年 9 月 14 日 (木) ~ 16 日 (土)  <b>【会場】</b> 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1)  <b>【内容】</b> 国内外の技術者・研究者の国際的な技術交流と連携の深化。</p>
<p><b>(4) 第 70 回記念年次大会</b>  <b>【期日】</b> 平成 29 年 6 月 2 日 (金)、3 日 (土)  <b>【会場】</b> 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4)  <b>【内容】</b> 研究成果、製品発表ならびに懇親会を通じて、学術的・技術的交流を深め、繊維ならびに繊維機械に関する情報や意見交換を行う (第 69 回大会の参加者は延べ 650 名)。</p>
<p><b>(5) 繊維機械学会誌「月刊せんい」特集号の刊行</b>  <b>【内容】</b> 平成 29 年度に記念特集号を刊行。</p>
<p><b>(6) 若手研究者・技術者育成基金の設立</b>  <b>【内容】</b> 次世代の繊維産業を担う若手人材育成を目的として、10 年間にわたり研究助成金を交付するための基金を創設する。</p>

創立 70 周年記念行事に加え、若手研究者・技術者育成基金の設立には、通常の学会活動資金に加えて新たな財源を必要と致します。本活動へのご理解をいただき、広く皆様方よりご寄付のご支援・ご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

賜りましたご寄付は、学会の特別会計に繰り入れ、上記の実施に充てさせていただきます。募金総額は 1,600 万円を目標としております。正会員のみなさまには 1 口 5,000 円にてご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

一般社団法人日本繊維機械学会長 喜成 年泰  
 創立 70 周年記念事業実行委員長 鋤柄佐千子

## 講演会「繊維産業と世界展開」

大きく世界情勢が変動する中、グローバルにビジネスを展開するには、各種経済協定【自由貿易協定（FTA）や経済連携協定（EPA）等】や知的財産を有効に活用し、世界で勝ち残るための企業体制を強化する必要があるかと思えます。

今回は、繊維産業が世界で勝ち残るためのポイントを関税ルールや知財の国際戦略等からご教授いただく講演会としております。また、昨今、ベトナムへの企業進出が注目されており、ベトナムでの企業進出の実情もお話しいただく予定です。

本講演会は、産学官から講師をお招きしており、繊維産業の世界展開に必要な情報を集めることのできる貴重な講演になるかと存じます。多数の方々のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成 28 年 12 月 2 日(金) 13.00~17.30

**会 場** 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28 号出口北へ徒歩 5 分）

**内 容** 予定

(1) FTA 活用の基本と事例 (13.00~14.00)

・日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部 ビジネス情報提供課 新輸出大国コンシエルジュ 堤 章

(2) 海外進出に伴う知的財産問題とその対応 (14.10~15.10)

.....(独法) 工業所有権情報・研修館 海外知的財産プロデューサー 久永 道夫

(3) グローバル市場で成功するためのトレンド攻略 (15.20~16.20)

.....豊橋技術科学大学 総合教育院 教授 坂本 和子

(4) ASEAN におけるベトナムの位置づけとその将来 (16.30~17.30)

.....プロミネント・ベトナム前社長、伊藤忠商事(株) 繊維カンパニー

ファッションアパレル第二部門 リテールクロージング課長 森田 洋

**協 賛** 大阪染色協会

**定 員** 40 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費** 会員 8,000 円、非会員 18,000 円、学生会員 1,000 円、学生非会員 2,000 円（税別）

**申 込** 「講演会繊維産業と世界展開」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

### 企画委員会

**委員長** 中西 康雅（三重大学）

**副委員長** 井出 潤也（クラレ）

**企画委員** 青谷実知代（神戸松蔭女子学院大学）

岡田 英基（東レ）

佐久間 淳（京都工芸繊維大学）

杉山 研志（TMT マシナリー）

馬場武一郎（日本毛織）

東山 幸央（兵庫県立工業技術センター）

山田 博夫（ユニチカトレーディング）

**アドバイザー** 宇治 光洋（ダイセン（繊維ニュース））

中村 信（ダイキン工業）

田上 秀一（福井大学）

伊藤 智樹（ボーケン品質評価機構）

奥野 智朗（住江織物）

佐藤 克成（奈良女子大学）

筒井久美子（村田機械）

原 茂（豊田自動織機）

廣澤 覚（京都市産業技術研究所）

若松 栄史（大阪大学）

越智 清一（繊維評価技術協議会）

松下 義弘（京都工芸繊維大学）

松崎 健（ミズノ）

稲富伸一郎（東洋紡）

奥林 里子（京都工芸繊維大学）

滋野 治雄（帝人）

仲井 朝美（岐阜大学）

伴場 秀樹（津田駒工業）

森島 英暢（倉敷紡績）

武内 俊次（福原産業貿易）

六田 克俊（森田工業）

# 2017 学術ミキサー

新年を迎えるにあたり、「2017 学術ミキサー」を大阪にて開催いたします。繊維関連の3学会共催による開催も3年目となりました。2016年度は3学会と一緒に「スマートテキスタイル研究会」を運営することになった年度でもございます。

「2017 学術ミキサー」では、各学会会長もしくは副会長からの挨拶、「スマートテキスタイル研究会」の委員長堀照夫氏からの研究会の紹介とともに、株式会社感性リサーチ 代表取締役社長 黒川 伊保子氏より『感性マーケティング～脳が創り出す時代の風』と題して基調講演をいただきます。黒川氏は富士通ソーシャルサイエンスラボラトリで人工知能の研究に従事したのち、株式会社感性リサーチを設立。世界初の語感分析法を開発し、多くの商品名やマーケティング戦略を手掛けておられます。脳科学と独自のマーケティングをもとに人間の思考や行動についても多数の著書がございます。（『怪獣の名はなぜガグゲゴなのか』（新潮社）、『鈍感な男 理不尽な女』（幻冬舎）、『英雄の書』（ポプラ社）、『脳科学的に正しい恋愛脳の作り方（KADOKAWA）、『「ぐずぐず脳」をきっぱり治す！ 人生を変える7日間プログラム』（集英社）、他。）男性女性に限らず、どの世代の方にも前向きな勇気を与えてくださること必至です。

この機会に、平素よりご支援、ご指導を頂いております大学、研究機関、企業ならびに関連団体の方々との間で情報交換をしていただきながら、繊維関連の学術、産業、マーケティングについて今後を展望したいと存じます。各学会の維持会員・賛助会員はじめ大学・企業・団体会員の方々におかれましては、3学会の会員同士の連携や情報交換の貴重な機会です。多数の方々のご参加をお待ちしております。

**期 日** 平成 29 年 1 月 25 日(水)

**会 場** 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28 号出口北へ徒歩 5 分）

**内 容** 予定

- (1) 3学会の会長もしくは副会長から挨拶（14.00～14.15）
- (2) 「スマートテキスタイル研究会」の紹介及びスマートテキスタイル関連の研究紹介（14.15～14.55）  
 …………… スマートテキスタイル研究会委員長、福井大学 産学官連携本部 客員教授 堀 照夫
- (3) 基調講演「感性マーケティング～脳が創り出す時代の風」（15.00～16.30）  
 …………… 株式会社感性リサーチ 代表取締役、人工知能研究者、脳科学コメンテーター 黒川伊保子
- (4) 交流会（軽食）（16.30～18.00）

**共 催** 一般社団法人繊維学会、一般社団法人日本繊維機械学会、一般社団法人日本繊維製品消費科学会

**参加費** 3,000 円（税別）

**定 員** 70 名（定員になり次第締め切らせていただきます）

**申 込** 「2017 学術ミキサー」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号）、④交流会参加の有無を記入の上、FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会  
 〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル  
 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

情報化委員会			
委員長	保田 和則（愛媛大学）		
委員	武内 俊次（福原産業貿易）	山下 義裕（大阪成蹊短期大学）	横山 敦士（京都工芸繊維大学）

## 講演会「ITMA ASIA + CITME2016(上海)視察報告」

中国最大の繊維機械展とされる「中国国際繊維機械展示会」(CITME)と「国際繊維機械見本市アジア展示会」(ITMA ASIA)が平成28年10月21日～25日の日程で上海にて開催されました。

アジア地区の最新動向を知ることは、これからのアジア地区の戦略を練る意味でも重要です。本講演会ではITMA ASIA & CITME2016(上海)に参加された方々を講師として、国際見本市の報告を兼ね、繊維機械の最新動向について解説頂きます。世界の最新動向をつかむ絶好の機会と存じます。多数の方々のご参加をお待ちします。

**期 日** 平成29年1月27日(金) 9.55～17.25

**会 場** 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

**内 容** 予定

開会の挨拶(9.55～10.00)……………日本繊維機械学会 会長, 繊維機械研究会 委員長 喜成 年泰

(1) 全般(10.00～10.40)……………金沢大学 教授 喜成 年泰

(2) 合繊機械(10.40～11.20)

    紡糸巻取関係……………TMTマシナリー(株)

    加工機関係……………TMTマシナリー(株)

(3) 紡績機械(11.30～12.10)……………(株)豊田自動織機

(4) 革新精紡機(12.10～12.30)……………村田機械(株)

(5) 自動ワインダー(12.30～12.50)……………村田機械(株)

(6) 織機(13.50～14.30)……………津田駒工業(株)

(7) 編機(14.30～15.10)……………日本マイヤー(株)

(8) 染色加工機械(15.20～16.00)……………(株)日阪製作所

(9) インクジェット捺染機(16.00～16.40)……………コニカミノルタ(株)

(10) ディスカッション(16.40～17.20)……………講演を頂きました講師

閉会の挨拶(17.20～17.25)

(11) 交流会(17.30～19.00)

**共 催** 繊維機械研究会

**協 賛** 大阪染色協会, 日本繊維機械協会

**定 員** 80名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員15,000円, 協賛学協会会員15,000円, 非会員25,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員3,000円(税別), 繊維機械研究会メンバー無料, 交流会別途5,000円程度

**申 込** 「講演会ITMA ASIA2016 視察報告」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

### ジャーナル編集委員会

**委員長** 木村 裕和(信州大学)

**副委員長** 保田 和則(愛媛大学)

山本 貴則(大阪府立産業技術総合研究所)

**編集委員** 上田 博之(大阪信愛女学院短期大学)

近藤 幹也(東京都立産業技術研究センター)

解野 誠司(和歌山県工業技術センター)

堀場 洋輔(信州大学)

山下 義裕(大阪成蹊短期大学)

與倉 弘子(滋賀大学)

金井 博幸(信州大学)

小柴 孝(奈良工業高等専門学校)

則末 智久(京都工芸繊維大学)

松岡 敏生(三重県工業研究所)

山本 剛宏(大阪電気通信大学)

# 講演会「技術立国日本の先駆者（第3回）」

日本繊維機械学会は昭和23年に設立され、本年で69年目を迎えます。設立当初は戦後の復興期に当たり、繊維産業は基幹産業として我が国の経済再興の牽引役を果たし、戦後経済発展の一翼を担ってきました。それから約70年経過し、紆余曲折を経て産業としての舞台は東南アジア諸国に移りつつありますが、その基礎となる関連技術は我が国において、益々発展の一途にあると言っても過言ではありません。

本学会では、平成20年に「フェロー制度」を設け、以後、毎年学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた方にフェローの称号を授与しています。この技術立国日本の礎をつくった先駆者の方々に講師に招き、成功と失敗談、光と陰の部分をお腹なく語って頂く講演会を企画しました。ベテランはもちろん、若手の方々にも是非ご参加をお勧めします。

**期 日** 平成29年2月24日(金) 14.00~17.00

**会 場** 大阪科学技術センタービル (大阪市西区靱本町1-8-4)

**内 容** 予定

(1) “細くて長い形” に魅せられて (14.00~15.00)

..... 日本繊維機械学会フェロー、元京都工芸繊維大学 前川善一郎

### 講演概要

大学卒業後、民間会社で行った化学装置の設計製作で、“細くて長い形”をした繊維材料とプラスチック材料が一体になった繊維強化プラスチック材料と出会い、その魅力に取り付かれ、当時、本材料の最先端研究をしていた大阪市立大学機械工学科藤井研究室の修士学生になり、その後の長い人生には、“細くて長い形”がいつも傍に存在していました。

- 1) 大阪市立大学時代では、主として繊維強化プラスチック材料の信頼性研究に従事し、学位を取得しました。
- 2) 京都工芸繊維大学繊維学部時代では、京都の伝統技術であった組物構造をした繊維強化複合材料の研究開発に従事しました。
- 3) 京都工芸繊維大学先端ファイブ科学専攻時代では、織物の伝統技術の発掘に従事し、本学会に“染織品と染織文化財研究会”を立ち上げました。
- 4) 京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター時代では、“細くて長い形”をした毛筆字体の感性に関する研究に従事しています。
- 5) 恩返しのため、“細くて長い形”をした繊維材料のすばらしさを小中学生に伝えるフェロー会の行事に積極的に参加しています。

### 略歴

1963年 大阪大学工学部精密工学科卒業、4年間の民間会社(栗本鉄工所)勤務を経て、1970年 大阪市立大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了、工学博士(大阪市立大学、1981年)、1971年より大阪市立大学工学部機械工学科助手、公立大学在外研究員(米国コロンビア大学、1973年)、1983年より京都工芸繊維大学繊維学部高分子学科助教授・教授、1998年に京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科先端ファイブ科学専攻設置に伴い移転、2003年より平安女学院大学生活環境学部特任教授、2013年より京都工芸繊維大学伝統みらい教育研究センター特任教授、日本繊維機械学会会長、プラスチック成形加工学会副会長、先端材料技術協会副会長強化プラスチック協会賞(論文賞)(1978年、1990年)、日本繊維機械学会技術賞(1988年)、プラスチック成形加工学会論文賞(1993年)

(2) メリヤスとの出会い (15.15~16.15)

..... 日本繊維機械学会フェロー、一般財団法人日本繊維製品品質技術センター 岡野 志郎

### 講演概要

- 1) メリヤスとは何か?
- 2) メリヤスとの出会い
- 3) メリヤスとの人生

### 略歴

京都工芸繊維大学工芸学部色染工芸学科卒業、1956年(財)日本メリヤス検査協会【現(一財)日本繊維製品品質技術センター】入社、1983年理事、1990年常務理事、1993年日本繊維製品品質技術センター常務理事、1997年参与、1999年アドバイザー、同年京都ノートルダム女子大学非常勤講師

(3) ディスカッション (16.15~17.00)

- 協賛** 大阪染色協会
- 定員** 30名（定員になり次第締め切らせて頂きます）
- 参加費** 会員 2,000円，非会員 5,000円（税別），学生無料
- 申込** 「講演会技術立国日本の先駆者」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX番号，E-mailアドレス），④会員種別を記入の上，FAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。
- 申込先** 日本繊維機械学会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691，FAX. 06-6443-4694，E-mail: info@tmsj.or.jp

## テクテキスタイル研究会（第42回）研究例会 「高機能繊維の研究開発動向」

- 期日** 平成28年11月22日(火) 14.00～17.00
- 会場** 福井県工業技術センター管理棟2階講堂（福井市川合鷺塚町 61-10）
- 内容**

- (1) 東洋紡の高機能繊維について（14.00～15.00）  
..... 東洋紡(株) 機能材開発研究所 奥山 幸成
- (2) エンプラ繊維 ゼクシオンについて（15.00～16.00）  
..... K Bセーレン(株) 営業開発室 安田 直之
- (3) 複合溶融紡糸法を利用した機能性繊維材料開発（16.00～17.00）  
..... 東京工業大学 物質理工学院 教授 鞠谷 雄士

- 共催** 福井県繊維技術協会，日本繊維機械学会テクテキスタイル研究会，福井県工業技術センター
- 参加費** 会員 5,000円，非会員 13,000円，学生会員無料，学生非会員 2,000円（税別）  
テクテキスタイル研究会メンバー無料（法人メンバーは複数名参加可能）
- 申込** 「テクテキスタイル研究会（第42回）研究例会」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所地，電話番号，FAX番号，E-mailアドレス），④会員種別を記入の上 FAX または E-mail にて下記宛てお申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。
- 申込先** 日本繊維機械学会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4，大阪科学技術センタービル  
TEL.06-6443-4691，FAX.06-6443-4694，E-mail: info@tmsj.or.jp

### 学会誌編集委員会

- |             |                      |                  |                     |
|-------------|----------------------|------------------|---------------------|
| <b>委員長</b>  | 勝圓 進（倉敷紡績）           |                  |                     |
| <b>副委員長</b> | 岡本 陽子（神戸女子大学）        |                  |                     |
| <b>編集委員</b> | 一田 昌利（京都工芸繊維大学）      | 乾 明子（カケンテストセンター） | 大萩 成男（和歌山県工業技術センター） |
|             | 岡田 倫子（滋賀県東部工業技術センター） | 勝 眞理（アシックス）      | 迫部 唯行（ユニチカ）         |
|             | 澤田 淳（TMT マシナリー）      | 鈴木 芳史（帝人）        | 高橋 朋子（旭化成）          |
|             | 中川 隆（村田機械）           | 峯村 慎一（東洋紡）       | 村井 大輔（消費科学研究所）      |

## 不織布研究会 (第 66 回) 研究例会

**期 日** 平成 28 年 11 月 24 日(木) 13.30~16.50

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

**内 容**

- (1) わくわく商品開発のススメ (13.30~14.30)  
..... 元花王(株) 商品開発 担当 忽那 公範
- (2) 縦型不織布構造体による快適性への貢献 (14.40~15.40)  
..... 帝人(株)高機能繊維事業本部 ソリューション開発部 鈴木 篤
- (3) 不織布の最新動向 (15.50~16.50)  
..... 不織布研究会委員長, 日本不織布協会顧問 矢井田 修
- (4) 交流会 (17.00~18.30)

**定 員** 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 12,000 円, 非会員 20,000 円, 学生会員無料, 学生非会員 2,000 円 (税別)

不織布研究会メンバーは無料, 交流会参加費別途 5,000 円程度

**申 込** 「不織布研究会第 66 回研究例会」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛てお申し込み下さい. 学会 HP より参加申込書のダウンロードができます.

**申込先** 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 繊維リサイクル技術研究会第 121 回情報交換会 ~ここまで来た紙おむつリサイクル!~

**日 時** 平成 28 年 11 月 28 日(月) 14.00~17.00

**会 場** 京都工芸繊維大学 60 周年記念会館 (京都市左京区松ヶ崎御所海道町)

**内 容**

開催の挨拶 (14.00~14.10)

..... 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉 木村 照夫

- (1) ディスポーザブル商品技術の基礎~紙おむつを中心に~ (14.10~15.10)  
..... 瑞光メディカル(株) 副社長 倉田 修平
- (2) 紙おむつのリサイクル事業展開について (15.15~16.15)  
..... トータルケア・システム(株) 代表取締役 長 武志
- (3) 紙おむつリサイクルの技術的課題 (16.20~16.50)  
..... 福岡女子大学 国際文理学部 環境科学科 教授 吉村 利夫

名刺交換会 (17.30~19.30) (名刺交換会参加費 3,000 円)

**共 催** 京都工芸繊維大学 繊維科学センター

**問い合わせ先** 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

tkimura426@gmail.com

## テキスタイルカレッジ

## 実習：KES (Kawabata Evaluation System) による布特性の測定講座

布の風合いの客観的評価に用いられる布の物理特性値の意味と KES-F の測定原理についての講義の後、少人数での実習を行います。実習では、KES-F (auto system ではありません) によって布の力学的特性 (引張, せん断, 曲げ, 圧縮特性) と表面特性を, KES Thermo-labo II によって熱・水分移動特性 (最大熱流束  $q_{max}$ , 熱コンダクタンス, 熱損失) を測定していただきます。

布の物理特性について学びたい, KES-F を所持しているので測定原理を復習したいというだけでなく, 基本的な測定条件を知った上で衣料用の布だけでなく触感に関わる生活材料 (たとえば不織布, 皮革類, 紙, フィルム, その他硬い材料など) に応用したい, さまざまな条件設定について知りたいなど, これまでの事例を踏まえ, 触感研究への応用に関するさまざまなご相談にも対応します。布の物理特性を勉強する機会がなかった方や感覚の客観評価に興味をお持ちの方等を対象に, 布の触感の客観評価の基本的用語等を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に触感評価にかかわる業務に携わっておられる方にも大いに役立つものと思います。関係各位多数の方々のご参加をお待ちしております。

**期 日** 平成 28 年 11 月 25 日 (金)

**会 場** 神戸大学発達科学部 (神戸市灘区鶴甲 3-11)

JR「六甲道」または阪急「六甲」下車の後, 各駅北側のバス停より神戸市バス 36 系統 鶴甲団地行 神大発達科学部前 下車。

**講 義** 第 1 班 : 11.00~13.00, 第 2 班 : 14.00~15.00

(1) KES-F による布の力学特性, 表面特性, および熱・水分移動特性の測定

..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授 井上 真理

**実 習** 第 1 班 : 11.00~13.00, 第 2 班 : 15.00~17.00

(2) 1) 布の曲げ特性, せん断特性, 引張特性の測定

2) 布の圧縮特性, 表面特性の測定

3) 布の熱・水分移動特性 (最大熱流束  $q_{max}$ , 熱コンダクタンス, 熱損失) の測定

1 班を 3 つに分けて, ローテーションで実習を行います。

..... カトーテック(株)ならびに井上真理

必要な方は実習後に質疑等お受けします。

**協 賛** 大阪染色協会

**定 員** 第 1 班, 第 2 班それぞれ 15 名 (計 30 名) (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 会員 10,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ実習：KES による布特性の測定講座」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤第 1 班, 第 2 班希望順位 (申込状況により第 1 希望に添えない場合がございますので, あらかじめご了承ください) を記入の上, FAX または E-mail にてお申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp



テキスタイルカレッジ

# 合織の基礎と最新の技術

合成繊維についての、合成・重合・紡糸（スーパー繊維を含む）、糸加工、製布、染色加工および特化素材について、基礎から最新の技術までを体系的に習得できるようなプログラムを企画しました。

これから繊維事業に携わる技術者にはひとつの分野の専門を有するだけでは不十分で、広い範囲の知識が求められます。本講座はこのようなニーズにも応えられるものと確信しています。

講義にはできるだけ現物（サンプル）を提示するようにし、質問にも答える時間を設けていますので、この機会に多数の方々のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成 28 年 12 月 6 日(火)、7 日(水) 10.00~17.10

**会 場** 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28 号出口北へ徒歩 5 分）

**内 容**

## 第 1 日目【12 月 6 日(火)】

- (1) 化合織概論 (10.00~12.00) ..... 山崎技術士事務所 代表 山崎 義一  
 一 種々の化学繊維の概要を説明し、その技術史ならびに産業論を含めて解説します。
- (2) 合成繊維のモノマー、重合、ポリマー、化学改質 (13.00~15.00)  
 ..... 名古屋大学名誉教授、名古屋産業科学研究所 上席研究員 小長谷重次  
 一 3 大合織とポリウレタンを対象としたモノマー、重合、ポリマー、化学改質について解説します。
- (3) 合成繊維の繊維化プロセス、構造と物性の関係 (15.10~17.10)  
 ..... 龍谷大学 REC、P&P リサーチ代表、日本繊維機械学会フェロー 石原 英昭  
 一 紡糸工学の概要を説明し、特に熔融紡糸、乾式紡糸などの実際例を紡糸挙動、繊維構造、物性などと関連づけて解説します。

## 第 2 日目【12 月 7 日(水)】

- (4) 合成繊維の高次加工—染色加工 (10.00~12.00)  
 ..... 元帝人、日本繊維技術士センター執行役員 嶋田幸二郎  
 一 合成繊維の染色技術および染色加工工程での高付加価値加工や機能性付与技術について、原糸開発との関連において、その基礎知識と最近の技術動向を解説します。
- (5) 合成繊維の高次加工—糸加工、製布 (13.00~15.00) ... 日本繊維技術士センター 評議員 藤田 隆嘉  
 一 合成繊維フィラメントの高次加工としての仮撚、エア加工、撚糸および混織・複合を含む糸加工の目的、手法、効果、それを生かす製布の概要について解説します。
- (6) スーパー繊維とその用途展開 (15.10~17.10)  
 ..... 東洋紡(株) 機能材開発研究所 総合研究所 研究企画管理室 部長 寺本 喜彦  
 一 近年、スーパー繊維として脚光を浴びている有機系の高強度・高弾能率繊維を中心に、その基本から最近の用途開発事例について解説します。

**協 賛** 大阪染色協会、日本化学繊維協会

**定 員** 30 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費** 会員 25,000 円、非会員 33,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円（税別）

**申 込** 「テキスタイルカレッジ合織の基礎と最新の技術」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル  
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## テキスタイルカレッジ

# 繊維製品の品質管理と品質保証

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について繊維評価技術協議会から、製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡織、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、TMT ソリューションズ(株)、津田駒工業(株)、尾張繊維技術センターから解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成 29 年 3 月 3 日(金) 10.00~18.20

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

### 内 容

- (1) 生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明 (10.00~11.10)  
..... (一財)ニッセンケン品質評価センター 東京事業所 研究開発課 課長 木内 智
- (2) 機能性試験の内容と評価基準 (11.15~12.25)  
..... (一社)繊維評価技術協議会 大阪支所参事, 日本繊維学会フェロー 越智 清一
- (3) 製品クレームの事象と対策例 (13.15~14.25)  
..... (一財)ボーケン品質評価機構 大阪業務部 兼 大阪事業所 試験課 課長 平岩 清隆
- (4) 溶融紡糸長繊維生産品の品質欠点について (14.30~15.30)  
..... TMT ソリューションズ(株) 参与 中田 賢一
- (5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響 (15.30~16.30)  
..... 村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守
- (6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響度 (16.40~17.30)  
..... 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場 秀樹
- (7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響度 (17.30~18.20)  
..... あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 田中 利幸

**協 賛** 大阪染色協会

**参加費** 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

**定 員** 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

# 第 44 回繊維工学研究討論会 2016 (ニューデリーにおける国際シンポジウム) The 44<sup>th</sup> Textile Research Symposium

今年の第 44 回繊維工学研究討論会は、インドのニューデリー市にある、Indian Institute of Technology Delhi (インド工科大学) に於いて開催します。繊維工学に関する発表 (口頭またはポスター) を募集しておりますので、積極的なご参加、研究発表をお待ちしています。

- 期 日** 平成 28 年 12 月 13 日 (火) 集合, 移動  
 12 月 14 日 (水) 登録, 繊維工学研究討論会 1 日目  
 12 月 15 日 (木) 繊維工学研究討論会 2 日目  
 12 月 16 日 (金) 繊維工学研究討論会 3 日目  
 12 月 17 日 (土) 国際交流  
 12 月 18 日 (日) 移動, 解散

**会 場** 繊維工学研究討論会の会場: Indian Institute of Technology Delhi (インド工科大学)  
 Hauz Khas, New Delhi 110016, India (<http://www.iitd.ac.in/>)

**参加費** 一般参加者 400 US \$, 学生参加者 200 US \$ (支払いは会場受付)  
 参加費の中には、ローカルな交通費 (空港ホテル間の送迎, ホテル会場間の毎日の行き来), 3 日間のティー / コーヒー, ランチ / デイナーの費用, 会議 (本または CD), バッグの費用, 市内のエクスカージョンの費用が含まれています。

**参加申込** 平成 28 年 11 月 30 日までに事前登録をお願いします。

**オーガナイザー**

インド側: Dr. B.K Behera, Department of Textile Technology, Indian Institute of Technology, Delhi, Hauz Khas, New Delhi 110016, E-mail: bijoy.behera@yahoo.com  
 Tel. 91-11-26592424, Fax. 91-11-26562503

日本側: 米田 守宏 (奈良女子大学 生活環境学部) 〒 630-8506 奈良市北魚屋西町  
 E-mail: yoneda@cc.nara-wu.ac.jp, Tel&Fax: 0742-20-3463

**旅行代金** 234,000 円 (SINGLE), 193,000 円 (TWIN) (宿泊費, 航空券を含む。只今の予定です。)  
 宿泊ホテル: Hilton Garden Inn New Delhi: 四つ星ホテル  
 フライトについて (現況の予定であり, 変更になる可能性があります。JL = 日本航空利用)  
 12 月 13 日 (火) JL-3002 便伊丹 (8.00) - 成田 (9.20), JL-749 便成田 (11.35) - デリー (18.20)  
 12 月 18 日 (日) JL-740 便デリー (20.20) - 成田 (12 月 19 日 7.10), JL-113 便羽田 (10.30) - 伊丹 (11.40)

**ビザについて** インド訪問にはビザが必要です。ビザ取得申込みも可能です。ビザ取得費用 9,100 円

**申込方法** 学会 HP より参加申込み用紙をダウンロード頂き, 以下宛先までお申し込み下さい。

**申込み先** 旅行企画・実施 (株)ジェイワールドトラベル 担当: 橋本 賢次  
 〒 541-0052 大阪市中央区安土町 3-4-10 京阪神安土町ビル 3 F  
 TEL. 06-6266-2229, FAX.06-6266-3447 (観光庁長官登録旅行業 第 1359 号)  
 E-mail: hashimoto@jw-trvl.co.jp

**問合せ先** 日本繊維機械学会 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp  
 ジェイワールドトラベル 担当: 橋本 TEL. 06-6266-2229, E-mail: hashimoto@jw-trvl.co.jp

# 第 45 回繊維工学研究討論会 (国際シンポジウム) 2017

**期 日** 平成 29 年 9 月 14 日 (木) ~ 16 日 (土)

**会 場** 京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス 60 周年記念館 (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1)

## 北陸支部 平成 28 年度研究発表会

**期 日** 平成 28 年 12 月 7 日 (水) 10.50~17.30

**会 場** 福井駅西口再開発ビル 3F ハピリンホール (福井市中央 1-2-1)

### 内 容

開会挨拶 (10.50~10.55)

特別講演「熱可塑性 CFRP のハイサイクル成形要素」(11.00~11.50)

..... 岐阜大学 教授 仲井 朝美

研究発表 (第一部) (13.00~15.00)

(1) 「繊維製品の特徴を活かしたソフトアクチュエータの研究 - 形状記憶合金編地の機械的特性 第 2 報 -」

..... 石川県工業試験場 ○中島 明哉

(2) 「薄手編布の 2 軸引張特性に関する研究」

..... 金沢大学 ○水谷 健登, 若子 倫菜, 喜成 年泰

(3) 「静電紡糸ナノファイバーとセルロースナノファイバーの複合化シートの開発」

..... 富山県工業技術センター ○成瀬 大輔, 金丸 亮二

(4) 「ガイド摩擦による熱が合繊糸物性に及ぼす影響」

..... 金沢大学 TMT マシナリー(株)\* ○曾我 達也, 加賀田 翔\*, 若子 倫菜, 喜成 年泰

(5) 「インターレース加工中における交絡部の残存に関する研究」

..... 福井大学大学院 TMT マシナリー(株)\* ○林 直弥, 家元 良幸, 植松 英之  
田上 秀一, 澤田 淳\*

(6) 「熱可塑性 CFRP のプレス条件が機械的特性に及ぼす影響」

..... 福井大学大学院 ○伊藤 友樹, 山根 正睦, 植松 英之, 田上 秀一

研究発表 (第二部) (15.10~17.10)

(7) 「押出發泡成形の数値解析」

..... 福井大学大学院 ○細野 誠二, 植松 英之, 田上 秀一

(8) 「編布の染色むら評価方法に関する研究 ~むら部に関する画像情報と視覚情報との比較~」

..... 金沢大学 ○奥野 正貴, 若子 倫菜, 喜成 年泰

(9) 「パンティストッキングにおける色彩と視覚的表面粗さ感」

..... 金沢大学 ○若子 倫菜, 村瀬 慎, 喜成 年泰, 下川 智嗣

(10) 「若者の和文化体験からみた温泉宿利用と温泉ゆかたの嗜好傾向」

..... 富山大学 ○中嶋史央里, 孫 珠熙

(11) 「織物の光沢感に対する官能評価と光沢値との比較」

..... 福井大学大学院 ○瀬古 晋弥, 植松 英之, 家元 良幸, 田上 秀一

..... 福井県工業技術センター 岩下 美和, 増田 敦士, 村上 哲彦, 川端 清二

(12) 「若者の和文化体験からみた温泉ゆかたの装い行動; 地方と都市の比較」

..... 富山大学 ○孫 珠熙, 中嶋史央里

優秀発表受賞式と閉会挨拶 (17.20~17.30)

**定 員** 150 名

**参加費** 無料 (予稿集冊子代 500 円)

**申 込** 12 月 2 日 (金) までに会社名・氏名・連絡先 (メールアドレス・電話番号) をご記入の上, メールまたは FAX にてお申し込み下さい.

**申込先** 福井大学 植松英之

E-mail : uematsu@matse.u-fukui.ac.jp, FAX : 0776-27-8767, TEL : 0776-27-9952

## 第 70 回年次大会研究発表募集

一般社団法人日本繊維機械学会は、繊維産業に携わる方々の結集体として昭和 23 年に創立以来、繊維および繊維機械に関する学術の進歩、かつこれらに関連する工業技術の発展に努め、平成 29 年に創立 70 周年を迎えることとなりました。これはひとえに会員の皆様の絶大なるご支援とご協力の賜物であり、ここに深く感謝の意を表します。

お蔭さまで、年次大会も第 70 回目を迎えます。本学会の年次大会の特色は、繊維機械を含む繊維・繊維製品がかかわる幅広い領域を網羅していること、製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされていることにあります。今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう、幅広い分野からの発表を募集します。

年次大会は年に一度、全国の会員が一堂に介して、研究発表会、特別講演会、懇親会に参加し、学術的・技術的交流を深め、情報交換、意見交換をする最も良い機会と考え、皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思えます。また、35 歳以下の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」、「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます。ベテランの研究者から、経験の少ない若手の方々まで、多くのみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしております。

**期 日** 平成 29 年 6 月 2 日(金)、3 日(土)

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、北へ徒歩 3 分)

### 発表募集内容

[ ] 内はオーガナイザー

#### 1. 研究発表セッション

##### (a) テキスタイル・アパレルの科学と工学

[金井 博幸 (信州大学), 末弘由佳理 (武庫川女子大学), 辻 創 (カケンテストセンター), 松岡 敏生 (三重県工業研究所), 若月 薫 (信州大学)]

キーワード: 繊維工学 (繊維製品に関わる技術, 性能試験), ウェアの高機能化 (安全, 安心, 健康), 繊維製品と感覚計測 (風合い, 快適性, 感性評価)

##### (b) 繊維機械の科学と工学

[太田 幸一 (岐阜市立女子短期大学)]

キーワード: 繊維機械の基礎研究, 流れの科学, 繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術, 紡績技術, 化合繊維機械, 織機, 編機, 準備機械, 織編組技術, 各種繊維関連機器

##### (c) ナノファイバー

[山下 義裕 (大阪成蹊短期大学), 小野 努 (岡山大学), 金翼水 (信州大学), 中根 幸治 (福井大学), 向井 康人 (名古屋大学)]

キーワード: フィルター, ナノテクノロジー, エレクトロスピンニング, メルトブローン, 生体材料

##### (d) スマートテキスタイル

[堀 照夫 (福井大学), 柴田 和明 (シバタテクノテキス), 高橋 秀也 (大阪市立大学), 森本 一成 (京都工芸繊維大学)]

キーワード: スマート材料, ウェアラブル, 導伝繊維, 太陽光発電織物, LED 織物, 環境, 情報

##### (e) 環境対応技術

[小田 涼太 (三晶), 内丸もと子 (テキスタイルデザイナー), 豊田 宏 (太陽工業)]

キーワード: リデュース, リユース, リサイクル, 省エネ, エコロジー, LCA, 生分解性, 未利用資源, バイオマス, 環境負荷低減, 節電, 軽量

##### (f) 繊維強化複合材料

[中西 康雅 (三重大学), 倉敷 哲生 (大阪大学)]

キーワード: FRP, 熱可塑性樹脂複合材料, 金属基複合材料, セラミックス基複合材料, ナノコンポジット, 有機・無機繊維, 強化形態, マトリックス材, 複合効果, 傾斜機能

##### (g) 伝統的繊維製品および匠の技

[岡本 陽子 (神戸女子大学), 高井 由佳 (大阪産業大学)]

キーワード: 伝統産業, 天然繊維, 染織文化財, きもの, 組紐, 編物, 伝統技法, 織技法, 染技法, 衣文化, 民族衣装, 保存, 修復, 復元, 文様, 色彩, デザイン, データベース, 文化財

(h) 被服心理・ファッション

〔徳山 孝子（神戸松蔭女子学院大学）、水谷千代美（大妻女子大学）〕

キーワード：アパレル、色彩、デザイン、消費者、ビジネス、ジェンダー、顧客満足、ブランド、流行、購買行動、ユニバーサルファッション

(i) 染色・機能加工

〔安永 秀計（京都工芸繊維大学）、向井 俊博（京都市産業技術研究所）〕

キーワード：染料／顔料／色素、染色・加工処理剤、新規材料合成、染色・機能加工、デジタル染色、超臨界染色加工、エコ染色加工、ドライプロセス（電子線／紫外線／プラズマ）、堅ろう度向上、廃液処理、環境／持続社会、バイオベースマテリアル、食品・農芸分野、ヒューマンオリエンテッド

(j) バーチャルテキスタイル

〔横山 敦士（京都工芸繊維大学）〕

キーワード：繊維製品、バーチャル技術、数値解析、CAE、CAD

(k) 産業用繊維資材および不織布

〔増田 敦士（福井県工業技術センター）、矢井田 修（日本不織布協会）〕

キーワード：産業用繊維資材（テクニカルテキスタイル）、医療・衛生用、工業用、土木・建築用、自動車用、生活資材用、インテリア用、寝装用、皮革用、二次電池用などの不織布

## 2. 製品紹介セッション

〔武内 俊次（福原産業貿易）、井上 真理（神戸大学）、筒井久美子（村田機械）、馬場武一郎（日本毛織）〕  
繊維全般にわたって新旧にかかわらず製品およびプロトタイプを紹介するセッションです。その内容にPR色があっても差し支えありません。この点が、このセッションの大きな特徴です。広い範囲から製品、技術の進展に関連する発表を募集します。口頭発表とポスター発表（ポスターセッション）の製品紹介コーナーの両方に同じ発表内容を応募することができます（ダブルエントリーでも料金は発表1件分です）。

## 3. ポスターセッション

〔勝圓 進（倉敷紡績）〕

ポスターセッションは、発表者と意見交換できる場です。

このセッションには、(1) 学術研究発表コーナー、(2) 製品紹介コーナー（製品展示・実演も可能）があります。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます。

### 学術奨励賞について

すべての研究発表セッションを対象に（製品紹介セッション、ポスターセッションは該当しません）、平成29年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って優秀な口頭発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます。審査委員により、提出された原稿に基づく第一審査、第一審査を通過された場合、当日の口頭発表での第二審査を行います。学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意ください。ただし、ポスターセッション（審査対象外）へのダブルエントリーは可能です。

### ベストポスター発表賞について

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に（製品紹介コーナーは該当しません）、平成29年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って優秀なポスター発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます。当日【6月2日（金）昼休み】に審査を行います。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーも可能です。ただし、学術奨励賞とのダブルエントリーはできません。

### 発表申込方法

申込はメールで受け付けます。下記の要領でメールに必要事項をご記入の上、次のアドレスまでお送り下さい。

tmsj@rose.plala.or.jp

受付メールを自動的に分類する都合上、メールの件名は特に正確にご記入下さい。

学会HP (<http://tmsj.or.jp/>) の年次大会頁にも同様の案内があります。

**メールの件名の書き方**

メールの件名は以下から選び、そのままコピー&ペーストして件名欄に記載して下さい。  
これら以外の文字は件名欄に書かないで下さい。

- テキスタイル・アパレルの科学と工学
- 繊維機械の科学と工学
- ナノファイバー
- スマートテキスタイル
- 環境対応技術
- 繊維強化複合材料
- 伝統的繊維製品および匠の技
- 被服心理・ファッション
- 染色・機能加工
- バーチャルテキスタイル
- 産業用繊維資材および不織布
- 製品紹介セッション
- ポスターセッション

**メールの本文の書き方** メール本文には次の事項をお書き下さい。

- (1) 申込者氏名, 所属, 連絡先住所, 電話, FAX
- (2) ご希望のセッション (ポスターセッションの場合は, 学術研究発表コーナーまたは製品紹介コーナーの区別)
- (3) 発表題目, 発表者名 (連名者) の氏名ならびに所属 (登壇者に○)
- (4) 研究発表概要 (100 文字以内)
- (5) 学術奨励賞応募の有無, ベストポスター発表賞応募の有無, 賞に応募する場合は登壇者の年齢 (平成 29 年 3 月 31 日時点)
- (6) 関係書類 (参加証等) の配送先 (氏名, 所属, 連絡先), (1) と同じ場合には記載は不要です。
- (7) その他の連絡事項

**発表申込締切** 平成 29 年 2 月 20 日 (月) 17 時必着

**原稿提出締切** 平成 29 年 4 月 10 日 (月) 17 時必着

**その他**

- (1) 講演 1 件につき, 講演時間 20 分 (質疑応答 4 分, 交代 1 分を含む) を予定しています。
- (2) 口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み (ダブルエントリー) の場合は, 件名のみを変更して同じ本文内容で別々のメールでお送り下さい。このとき, メール本文の【その他の連絡事項】に重複申し込みしている旨をご記載下さい。
- (3) ポスターボードの大きさ
  - ①学術研究発表コーナー: たて 1170 mm, よこ 870 mm.
  - ②製品紹介コーナー: たて 841 mm, よこ 594 mm.
- (4) 発表者は自動的に参加登録されます。あらかじめご了承下さい。
- (5) 原稿は, 学会 HP の年次大会頁に掲載の原稿作成要項をご参照頂き, 書式にしたがって A4 判 2 枚にまとめて下さい。書式から大きくはずれた原稿は受付できません。
- (6) 参加登録費: 会員・発表者 8,000 円, 非会員 13,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円  
(事前登録日以降の登録 (当日を含む) は各々 2,000 円追加)

**問い合わせ先**

日本繊維機械学会 (第 70 回) 年次大会実行委員会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 東海支部 材料表面改質トライアルコア講演会

あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センターでは、下記の要領にて講演会を開催します。  
多数の方々のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成28年12月2日(金) 13.30~15.00

**会 場** あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター 3号館4階 研修室

**内 容** 感覚計測技術による商品開発手法および事例紹介

…………… 東洋紡(株)総合研究所 コーポレート研究所 快適性工学センター 部長 石丸 園子  
あいまいな感覚を機器による数値化,あるいは,数値計算により予測する感覚計測技術の開発に取り組んでいます。これまでに発汗マネキンによるむれ感の数値化,数値解析手法による衣服圧のシミュレーションなどに取り組んできました。これらの感覚計測技術の概要と,その技術を活用した商品開発事例について紹介します。

**参加費** 無料

**申 込** 「トライアルコア講演会」と明記し,①氏名,②所属,③連絡先(所在地,電話番号)を記入の上,E-mailにて下記宛お申し込み下さい。

**申込先** E-mail: owari-kikaku@aichi-inst.jp

〒491-0931 愛知県一宮市大和町馬引字宮浦35 TEL 0586-45-7871

## 平成29年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集

平成29年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので,下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は,本学会の会員であり,Original Paperを多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは,JTE(Journal of Textile Engineering,本学会論文集)に掲載されたOriginal Paperが「5編以上」とします。また,「新進の研究者」とは,年齢が当該年の前年の12月31日で,40歳以下の者とします。

応募される方は,下記の書類を添えて,平成29年2月6日(月)必着にて,下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部(様式は自由)

- 提出書類**
- (1) 氏名ならびに生年月日
  - (2) JTEに掲載された論文一覧(著者名全員,発行年,題目,巻号,初頁—終頁)
  - (3) 推薦書(自薦,他薦にかかわらず400字以内)

**申込先** 日本繊維機械学会 学術賞選考委員会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4,大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

### 染色加工研究委員会

<b>委員長</b>	上甲 恭平 (椋山女学園大学)		
<b>運営委員</b>	伊藤 博 (イトーピーイーオフィス)	今田 邦彦 (今田技術士事務所)	上野 清隆 (日阪製作所)
	越智 清一 (繊維評価技術協議会)	改森 道信 (改森技術士事務所)	金崎 英夫 (金崎技術士事務所)
	嶋田幸二郎 (嶋田技術士事務所)	長澤 則夫 (日本羊毛産業界協会)	橋本 嘉顯 (東洋紡リビングサービス)
	森本 國宏 (森本技術士事務所)	吉川 雅敏 (東洋紡)	



# 平成 29 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」募集

平成 29 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので、下記の要領により奮ってご応募下さい。

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する研究または技術開発のなかで、創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです。受賞資格は本学会の会員であり、前述の業績を挙げた研究者、技術者個人またはおおむね 6 名以内のグループとします。また、原則として、5 年以内の技術を対象とします。

応募される方は、下記の提出書類を平成 29 年 1 月 16 日(月) 必着で、下記の申込先宛送付して下さい。

**提出書類** 次の書類を 2 部 (正 1 部, 副 1 部, 副は複写も可) 提出して下さい。

- (1) 技術賞応募用紙 (所定の書式の用紙。学会 Web サイトからダウンロードするか、学会事務局までご請求下さい)
- (2) 応募業績に関する参考資料 (参考資料例: 特許, 図面, 新聞記事, 納入実績リスト, カタログ, 技術資料など)

**選考方法**

- (1) 一次選考 (書類審査) により選抜された業績について、二次選考 (現地調査) を行います。
- (2) 二次選考は、必要に応じて応募者の対象技術が実在し、稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います。

二次選考の実施時期につきましては、当該者へ後日連絡します。

**その他**

応募書類は選考の資料としてのみ使用し、選考終了後一定期間保管し安全に破棄します。

**応募締切**

平成 29 年 1 月 16 日(月) 17 時必着

**申込先ならびに問い合わせ先**

日本繊維機械学会 技術賞選考委員会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

**参考資料**

過去 3 カ年の「技術賞」受賞者一覧

・平成 26 年度受賞技術

「バット染料による綿ニット染色用液流染色機の開発」

..... (株)日阪製作所 清水 徹, 五反田一志, 白石 健二  
(株)ワコウナレッジ 若生 寛志  
福井大学 中根 幸治

「製織・縫製同時生産システムを目指したスワイベル織装置の開発」

..... (株)片山商店 小紫 和彦, 片山 象三  
兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 古谷 稔, 東山 幸央  
サイエンティフィックテクノロジーズ(有) 村尾 良男  
神戸大学 井上 真理

・平成 27 年度受賞技術

「高耐摩耗多重構造織物設計」..... 東レ(株) 主森 敬一, 二ノ宮有希, 土倉 弘至

「機台間通信機能を備えた紡績工程管理システム」

..... 村田機械(株) 林 茂, 野間 英治, 西山 能弘  
「生体を模擬した中わた素材の開発」..... 倉敷紡績(株) 小沢 一郎, 大西 浩一  
タイ・クラブウ(株) 山内 一平  
イシケン(株) 石川 和延

・平成 28 年度受賞技術

「高性能 CFRP ソールの成形技術」

..... (株)アシックス 谷口 憲彦  
川重岐阜エンジニアリング(株) 日比野 茂  
(株)アシックス 松尾 弘毅, 西脇 剛史

「競泳水着における機能性設計開発」

..... (株)ミズノ 田中 啓之, 島名 孝次

## 平成 29 年度日本繊維機械学会フェロー推薦のお願い

日本繊維機械学会では平成 19 年の創立 60 周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。フェロー制度は欧米では早くから確立されており、フェローとなる会員は、学会を代表するにふさわしい研究者、技術者として認定され、その自覚を持って社会的に活躍されています。

本学会では繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた正会員に、「日本繊維機械学会フェロー」の称号を授与し、会員の地位向上ならびに国際活動を円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的として、この制度を設けました。

下記の「日本繊維機械学会フェロー規程」ならびに「日本繊維機械学会フェロー内規」をご参照の上、自薦他薦を問いませんので、平成 28 年 2 月 28 日(火)までにご適任の方をご推薦頂きますようお願い申し上げます。

ご推薦頂きます場合は「フェロー推薦書」と明記し、①候補者氏名、②所属、③肩書、④連絡先、⑤推薦者氏名（自薦の場合は不要）を記入の上、FAX. 06-6443-4694 または E-mail: info@tmsj.or.jp 宛お送り下さい。

## 日本繊維機械学会フェロー規程

### 目 的

第 1 条 繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた会員に、日本繊維機械学会フェロー（以下フェローと称す）の称号を与え、会員の地位向上ならびに国際活動をより円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的とする。

### フェロー候補資格

第 2 条 フェローの称号を受ける資格は、原則として次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 正会員歴 10 年以上で、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の分野で顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (2) 正会員歴 15 年以上で本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (3) 維持会員ならびに賛助会員の各社あるいは各団体に通算 20 年以上在籍し、本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (4) 会長が認めた場合は上記以外でもフェロー称号を受ける資格者として認める。

### 推薦方法

第 3 条 フェローの称号は推薦により授与するものとし、推薦の方法は原則として次のいずれかによるものとする。

- (1) 自薦
- (2) 本学会の理事ならびに監事、各種研究会および委員会の委員長または支部長からの推薦のあった会員

### 推薦の時期

第 4 条 推薦者は所定の期日までに推薦書より選考委員会に申し出るものとする。

### 選考方法

第 5 条 フェロー候補者を選考するためにフェロー選考委員会を設ける。

### 認 定

第 6 条 フェロー選考委員会の選考結果に基づき、理事会の議決により認定し、日本繊維機械学会フェローの称号を授与する。フェロー認定書は、フェロー認定式において贈呈する。

### 任 務

第 7 条 フェローの称号を得た会員は、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の専門家として、傑出した研究者・技術者たることを自覚し、本学会の指導的会員として学会諸活動への積極的かつ能動的な参画を通じて本学会の目的達成のために率先して協力する。

### 登録費

第 8 条 フェローの称号を得た会員は、年会費とは別に定めた登録費を支払うものとする。

### フェローの返上

第 9 条 フェローとしての任務が不可能となった場合は、本人の申し出によりフェローの称号を返上することができる。

### 附 則

1. 本規程の改廃は理事会の議決による。
2. 本規程は平成 20 年 3 月 15 日より実施する。
3. 本規程は平成 27 年 1 月 24 日より実施する。

# 日本繊維機械学会フェロー内規

## 1. 推薦基準

(1) 候補者は、学術的・技術的業績に優れている者または学会活動に顕著な貢献を成した者とする。

## 2. フェロー選考委員会

(1) フェロー選考委員会は次の5名で構成する。選考委員については理事会の承認を得るものとする。

委員長 1名 (理事)

副委員長 1名 (理事)

委員 3名 (委員長指名による会員)

(2) あらかじめ提出された推薦書をもとに選考委員会において議決し、その結果を理事会に報告する。選考委員会における審査は全員の出席を原則とするが、止むを得ない事情が認められた場合は、書面による審査意見の提出によりこれに代えることができる。

(3) 選考の経過ならびに内容については公表しない。

## 3. 登録費

フェローの称号を得た会員は、本学会活動の活性化のために年会費とは別に、年会費5年分の登録費を登録年度に1回のみ支払う。

## 附 則

1. 本内規の改廃は理事会の決議による。
2. 本内規は平成20年3月15日より実施する。
3. 本内規は平成27年1月24日より実施する。

# 平成29年度日本繊維機械学会賞「論文賞」 推薦委員募集

平成29年度日本繊維機械学会賞「論文賞」の推薦委員募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

**申 込** 応募される方は、①氏名、②所属、③所在地、④連絡先 (電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス)、⑤専門分野を明記の上、平成29年1月23日(月)までに、FAX または E-mail で下記宛お申し込み下さい。

**申込先** 日本繊維機械学会論文賞選考委員会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 【繊維産業活性化委員会 (繊維・未来塾)】

<b>塾 長</b>	松田 正夫 (元大阪繊維リソースセンター社長)	
<b>副 塾 長</b>	近藤 健一 (大正紡績(株) 繊維事業本部長 兼 東京営業所長)	八代 芳明 (東海染工(株) 代表取締役社長)
	山下 雅生 (㈱エイガールズ 代表取締役社長)	
<b>幹 事</b>	松下 義弘 (京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任教授)	
<b>運営委員</b>	糸井 弘一 (関西ファッション連合 戦略室 特命担当)	宇治 光洋 (ダイセン(株) 繊維ニュース 編集グループ記者)
	白谷旗世彦 (天津毛織(株) 代表取締役)	貝原 良治 (カイハラ(株) 代表取締役会長)
	北丸 豊 (豊栄繊維(株) 代表取締役社長)	桑名 紀夫 (日本パーソナルカラー協会 顧問)
	高澤 史納 (高澤織物(株) テキスタイルデザイナー)	高杉 哲朗 (㈱シヨウワ 代表取締役社長)
	辰巳 雅美 (辰巳織布(株) 代表取締役社長)	松尾 憲久 (マツオインターナショナル(株) 代表取締役社長)
	山本 敏明 (西染工(株) 代表取締役)	米倉 勝久 (㈱タカラ 代表取締役会長)
	渡邊 利雄 (渡辺パイル織物(株) 代表取締役社長)	

## FMC 12 月度セミナー

FMC（ファッション素材センター）の11月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくは FMC のホームページ ([http://www.geocities.jp/fmc\\_webpage/](http://www.geocities.jp/fmc_webpage/)) をご参照下さい。

**期 日** 平成 28 年 12 月 2 日(金) 18.15~20.00

**会 場** 大阪産業創造館 6F 会議室 E (大阪市中央区本町 1-4-5)

**内 容** 2017-18 A/W 予測される素材動向と環境の変化について

素材は作る上でも売る上でも今までにない複雑な変化が起きています。その大きな要因は消費者の意識変化による新しい市場への要求、NET や SNS による購買行動の変化と、3D やデジタル技術を駆使した加工や仕上げ、機能素材などによる変化にあります。

多くの分野で二極化が進みテキスタイルも例外ではありません。技術やクリエイションとビジネスをつなぐものが何であるかを PV 展と市場から探してみたいと思います。

**講 師** (株)ミックプランニング代表、ファッションマーケティング&テキスタイルディレクター 北川 美智子

**参加費** ビジター会員 2,000 円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年 11 回のセミナー (10 月は見学会) に無料で参加できます。年会費 12,000 円でどなたでも会員になれます。]

**申 込** 「FMC11 月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話または FAX 番号をご記入の上、11 月 25 日(金)までに E-mail にて下記宛てお申し込み下さい。

**申込先** 大阪樟蔭女子大学 被服学科内 FMC 事務局

E-mail: [fmc.office.mail@gmail.com](mailto:fmc.office.mail@gmail.com)

## 第 57 回公開講演会

**日 時** 平成 28 年 12 月 16 日(金) 13.30~16.30

**会 場** 大阪産業創造館 5F 研修室 E (大阪市中央区本町 1-4-5)

**内 容**

(1) スポーツ アパレルの機能性研究について

..... (株)アシックス スポーツ工学研究所 アパレル機能研究部 森 洋人  
 アスリートから一般ユーザーまでを含むあらゆるスポーツシーンにおいて、アパレルにも多様な機能性が求められています。ダイナミックな運動に追従するフィット性、過酷な環境における快適性や耐久性は勿論のこと、着用者のパフォーマンスを引き出し、安全にスポーツを楽しむための工夫が施されたスポーツアパレルは、繊維技術の発展と相まって進化を続けています。そして、その更なる高機能化には、詳細な動作分析と各種人体応答の観察、素材特性の理解と優れた構造設計が不可欠です。これら多様な技術、知見を活用した「Human Centric Science」に基づくスポーツアパレルの研究開発事例をご紹介します。

(2) 低環境負荷プロセスによる繊維の染色機能加工]

..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 准教授 奥林 里子  
 大量の水やエネルギー、薬剤を使用する従来の染色加工に代わり、環境負荷の低い新たなプロセスの早急な開発が期待されています。我々はこれまでに、乾燥工程や排水処理を必要としない超臨界二酸化炭素を用いた無水染色や、水系では加工が難しい新素材の超臨界流体中での機能化、放射線の一種である電子線の高いエネルギーを利用した繊維への高耐久機能性の付加に取り組んできました。本講演では超臨界流体加工及び電子線加工の基礎を説明し、これまでの研究成果を紹介すると共に無水染色並びに、電子線加工の現状についてお話しします。

**主 催** 日本繊維技術士センター

**申込・問合先** 一般社団法人日本繊維技術士センター (JTCC)

TEL : 06-6484-6506, FAX : 06-6484-6575, E-mail : [jtcc@nifty.com](mailto:jtcc@nifty.com)

**その他** 詳細は日本繊維技術士センターの HP (<http://www.jtcc.or.jp/>) をご参照下さい。

## 岐阜市立女子短期大学 専任教員の公募について .....

1. 採用職名 教授、准教授または専任講師
  2. 採用人員 1名
  3. 所属 岐阜市立女子短期大学 生活デザイン学科
  4. 担当科目 および業務 ファッションマーケティング、アパレルマーチャンダイジング、ファッションビジネス論、ファッション販売論、ファッションデザイン論、卒業研究、ゼミナール、その他関連科目を担当していただきます。
  5. 応募資格 (1) 採用時に修士以上の学位を有する方、または同等の業績を有する方  
(2) ファッションビジネス分野またはファッションマーケティング分野を専攻し、デザイン一般にも造詣の深い方  
(3) 同分野の実務経験を有していることが望ましい  
(4) 短期大学での教育、研究および学生指導に情熱を持って指導できる方  
(5) 産学連携あるいは、地域連携活動に関心があり、積極的に活動できる方
  6. 着任時期 平成29年4月1日
  7. 応募書類 (1) 履歴書(本学所定 様式1) ※メールアドレスも記入、要写真添付  
(2) 業績一覧(本学所定 様式2)  
※[原著論文]は、査読付論文/その他論文に分類して記入  
[総説・その他]は、専門誌等への寄稿/取材記事/各種報告書等に分類して記入  
[作品]は、受賞作品/雑誌掲載作品/その他作品に分類し、様式2を基にして項目を自由に設定し記入  
(3) 業績資料(著書、査読付原著論文、総説・その他、受賞作品・雑誌掲載作品等)  
(4) 主要論文の要旨(本学所定 様式3、受賞作品の概要でも可)  
(5) 教育、研究及びその他活動等業績書(本学所定 様式4)  
(6) 教育、研究及び学生指導に関する抱負(様式自由、2000字程度)  
(7) 最終学歴の修了証明書(もしくは学位記の写し)、および資格証明書等の写し  
(8) 本人に関する推薦書
- ・ (1) (2) (4) (5)については本学ホームページ <http://www.gifu-cwc.ac.jp/>の「専任教員公募のお知らせ」からダウンロードの上、ご記入ください。
  - ・ (3)については抜粋(別刷)もしくはコピーをご提出ください。
8. 選考方法 岐阜市立女子短期大学教員選考委員会において審議し、教授会により決定します。
  9. 応募締切日 平成28年11月30日(水)(必着)
  10. 応募書類提出先 〒501-0192 岐阜市一日市場北町7-1  
岐阜市立女子短期大学 学長 杉山寛行
- ・ 応募書類は簡易書留郵便または宅配便とし、「生活デザイン学科教員応募書類」と朱書きしてください。
  - ・ 選考審議の過程で面接をお願いすることがありますが、その場合の旅費は応募者の負担とします。
  - ・ 応募された書類は選考資料としてのみ使用し、選考終了後すぐに返却いたします。書類の返送先を明記した返信用封筒(切手不要)を同封してください。
11. 問い合わせ先 岐阜市立女子短期大学 生活デザイン学科  
学科長 服部宏己 TEL 058-296-4187 FAX 058-296-3130

## 海外繊維技術文献集 Vol. 66, No. 5 (2016-9) 内容目次

## 全訳

- ・モロッコの Alfa 繊維のナノセルロースで強化したバイオナノコンポジットフィルムの調製と特性

## 抄録

- ・メルトブローンで製造したポリプロピレンナノ繊維の構造及び機械特性
- ・綿の表面に見られる植物と昆虫の炭水化物異性体の分離と定量化
- ・リサイクルポリエチレンテレフタレート／多分岐ポリエステルコンポジット繊維の特性
- ・ステンレススチールコンポジット布の電磁シールド効力と数学モデル
- ・マルチスケールウェーブレット変換とガウス混合モデルに基づく布欠点の検出
- ・足部白癬療法のためのキトサン／クロトリマゾールマイクロカプセル：in vitro 抗真菌性と細胞毒性の研究
- ・綿／ナイロンと高性能ケルメル繊維混紡織物の熱的快適性に及ぼす混紡比の影響
- ・綿 100% 編地の紫外線防護特性の研究：編み構造の影響
- ・各種繊維による添え糸編構造の水管理特性
- ・顔料中のポリ塩化ビフェニル：意図しない生産と環境的意義
- ・古代多彩装飾におけるアルメニアコチニール (Porphyrhophora hamelii) とブルプリンの多いアカネ
- ・スパーサー布とプラズマ処理がスパーサー布の機能性に及ぼす影響
- ・繊維表面を永久改質するための工業用真空プラズマ技術
- ・ナイロン 66 とポリエステル生地帯電防止性能を向上させる大気圧プラズマ処理
- ・柔軟剤がポリエステル／綿混紡織物の物理的性質に及ぼす影響
- ・CMR (注) 化合物を含有しないノンフロンの耐久撥水剤
- ・テキスタイル、人工皮革、皮革のはっ水、はっ油、防汚処理
- ・ナノ酸化チタンで加工した綿布のセルフクリーニング性に及ぼすコロナ処理の研究
- ・分散染料によるポリウレタンナノ繊維の染色性
- ・CI Sulphur Black 1 による染色時の硫化ナトリウムの代わりに環境に優しい還元剤の使用
- ・2-フェノキシエタノールで処理したアラミドの構造と染色性
- ・タンパク質繊維の染色のための診断型エキスパートシステム
- ・新しい再生セルロース、レーヨン、綿繊維のキャラクタリゼーションとその織物の染色性
- ・リング糸とコンパクト糸の織物をマーセル処理した後の X 線分光法アナターゼ型酸化チタンを充填したポリ乳酸メンブランフィルム：調製、キャラクタリゼーション、抗菌活性の評価
- ・温度検出布による体温の測定
- ・湿摩擦堅ろう度の標準的評価法の改善
- ・持続可能性のあるファッション製品の持続可能性およびブランド名の
- ・効果と購入意思に対するコース・リレーテッド・マーケティング
- ・ゾルゲル法による酸化亜鉛ゾル含有ジアリルメチルアルキル第四級アンモニウム塩の合成：キャラクタリゼーションと特性
- ・有限混合モデルによる繊維長パラメータから綿繊維長確率密度関数の生成
- ・NaOH/尿素水溶液系からエレクトロスプレーを経た天然セルロース微粒子の製作
- ・マイクロ流体プロセスによる単分散カルボキシメチルセルロースマイクロ粒子のサイズ制御
- ・水性懸濁液中でのセルロースナノウィスカーのゲル化
- ・文化財の防護および修復のための微結晶セルロースに基づくコンポジットの機械的応答に及ぼす水分取着の効果

購読を希望の方は日本繊維機械学会事務局までご連絡下さい。